

小山市ワーク・ライフ・バランス推進事業者紹介!

平成 28 年 6 月 25 日に、男女共同参画社会の推進に理解と意欲があり、仕事と家庭生活を両立することができ、男女ともに働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる市内 3 事業者を「ワーク・ライフ・バランス推進事業者」として認定しました。

各事業者の取組みについて、ご紹介いたします。

株式会社 JTB 関東 法人営業小山支店	駅東通り 2-37-3
<p>①法令以上の育児・介護休業制度の整備。役職者の 8 日間連続休暇、時間管理、業務の見直し・分業化などの「働き方見直しプロジェクト」、「NEW iTM 運動」の実施。</p> <p>②資格取得補助とキャリア形成支援。「ダイバーシティ INDEX」の導入。表彰制度「ダイバーシティアワード」、事例を共有する「ダイバーシティマガジン」の発行。</p> <p>③地域のイベントなど地域貢献活動に取り組む。1 事由 1 年のボランティア休暇導入。</p>	
企業組合とちぎ労働福祉事業団 小山事業所	出井 1523-19
<p>①有給・無給を選択できる「調整休」で休暇取得推進。「誰もが安心して働ける、就労の場づくり」の理解や職場改善の話し合い「仕事研究活動」を実施。</p> <p>②職員の労働意欲を大切に、就業継続を支援するため、配置部署の自由選択が可能。資格取得の事業主負担。多様な働き方の理解・推進のためのヒアリング。</p> <p>③「就業体験」の毎年実施や就労等についての講演など、地域貢献活動に取り組む。</p>	
いなば建設株式会社	大行寺 1205-3
<p>①フレックスな勤務運用を行い、育児や介護がしやすい職場環境づくり。ワーク・ライフ・バランス推進のため、事業に影響のない範囲で毎日 18:00 を目標に帰宅実施。</p> <p>②会議や交渉等に男女共に責任ある職場配置。男女共同参画意識醸成に向けた社内話し合いを実施。資格取得、予防接種全額負担。医療受診体制の整備等。</p> <p>③地域のイベント参加やインターンシップなど、地域貢献活動に取り組む。</p>	

～ちょっと一考～

(子ども食堂)

子どもの貧困が加速しています。貧しいため十分な食事を摂れない、親の収入により学力に影響し格差が生じています。各地で学習支援や、食事を提供する居場所が増えつつあります。小山市でも「子どもの貧困対策」に取り組んでいます。また NPO により子どもと高齢者を対象とした居場所が開所されました。しかしまだ SOS を出せない、出し方がわからない親子もいることが予想されます。わずかずつでも心を開いてもらえるような地域づくりが急務と思います。

表紙のこたえ

国境なき記者団(国際ジャーナリスト団体・本部パリ)の 2016 年 4 月の報道自由度調べによると、日本は 180 カ国中 72 位と昨年の 61 位から大きく順位を下げました。どんな圧力にも屈することなく表現する自由は人権の基本といえます。

ドメスティック・バイオレンス

配偶者間や親しい間柄にある人からの暴力(通称:DV)

心あたりはありませんか?

■身体的な暴力

物をなげつける、なぐる、足でける

■精神的な暴力

「誰のおかげで生活できるんだ」など大声で怒鳴る、生活費を入れない、仕事につかせない、友人とのつきあいを制限する

■性的暴力

性的関係の強要、避妊に協力しない

1人で悩んでいませんか?

■相談窓口

小山市配偶者暴力相談支援センター

受付時間: 平日 9 時から 17 時

連絡先: ☎0285-22-9602

- とちぎ男女共同参画課センター相談ルーム ☎028-665-8720
- 小山警察署 ☎0285-25-0110
- 栃木県警察本部県民相談室 ☎028-627-9110
- ウイメンズハウスとちぎ(民間) ☎028-621-9993
- サバイバルネット・ライフ(民間) ☎0285-24-5192